

瀬戸内海国立公園
(山口県地域)

公園区域及び公園計画変更書
[第3次点検]

(環境省案)

令和 年 月 日
環 境 省

目 次

第1	公園区域の変更	1
1	変更理由	1
2	地域の概要の変更内容	2
3	変更する公園区域	14
第2	公園計画の変更	18
1	変更理由	18
2	規制計画の変更内容	19
	(1) 保護規制計画等	19
	ア 関連事項	19
	(ア) 普通地域	19
	イ 面積内訳	21
3	参考事項	23

第1 公園区域の変更

1 変更理由

瀬戸内海国立公園は、我が国を代表する内海多島海景観に加えて自然・人文の融和した特徴的な景観を有することから、昭和9年に備讃瀬戸が我が国最初の国立公園の1つとして指定された。

山口県地域は、柱島群島、周防大島（屋代島）及び周辺の島しょ、熊毛群島、笠戸島、周南群島等の島しょ部と、太華山、虹ヶ浜海岸、室積海岸、室積半島、千坊山・大峰山、皇座山等の本州沿岸部の陸域と周辺海域から構成される。

当該地域の特徴としては、多島海の眺望の他、点在する自然林、雄大な防予灘、ニホンアワサング群集等の海中景観といった自然風景や島しょ部の漁村・農村風景などの文化景観が一体となった親しみ深い景観が特色である。

当該地域は、昭和25年及び昭和31年の区域拡張により区域編入されたものであり、その後、平成3年に公園区域及び公園計画の全般的な見直し（再検討）、平成18年に公園区域及び公園計画の変更（第1次点検）、平成25年に公園計画の一部変更、平成29年に第2次点検が行われ、現在に至っている。

今回は、前回点検から5年以上が経過し、第3次点検を実施した結果、海域の埋立てに伴う公園区域の明確化等が必要となっている箇所が存在するため、公園区域の変更を行うものである。

2 地域の概要の変更内容

地域の概要を次のとおり変更する。

(表 1 : 地域概要変更表)

変更後	変更前
<p>山口県地域は、柱島群島、<u>周防大島（屋代島）</u>及び周辺の島しょ、熊毛群島、笠戸島、周南群島等の島しょ部と、本州沿岸部で<u>太華山、虹ヶ浜海岸、室積海岸、室積半島、千坊山・大峰山、皇座山</u>等の本州沿岸部の陸域と周辺海域からなっている。</p> <p>本地域の特徴としては、多島海の眺望の他、点在する自然林、雄大な防予灘、ニホンアワサンゴ群集等の海中景観といった自然風景や島しょ部の漁村・営農風景等が挙げられ、利用の形態としては、瀬戸内海の展望、海水浴、キャンプ等の海域での利用が多く、年間約 136 万人（平成 25 年）の利用者が訪れている。</p> <p>当該地域は、昭和 25 年 5 月及び昭和 31 年 5 月の区域拡張によりそれぞれ区域編入されたものであり、その後、平成 3 年 7 月に公園区域及び公園計画の全般的な見直し（再検討）、平成 18 年 1 月に公園区域及び公園計画の変更（点検）、さらに、平成 25 年 2 月には<u>周防大島（屋代島）</u>沖で確認された大規模なニホンアワサンゴ群集を保護するために公園計画の一部変更、平成 29 年 3 月に公園区域及び公園計画の変更（点検）が行われ、現在に至っている。</p> <p>(1) 景観の特性</p> <p>ア 地形、地質</p> <p>地形からみると、山地の配置や海岸線の形状は、主に北西－南東方向を主軸とし、これは副次的に交わる北東－南西方向の断層系の</p>	<p>山口県地域は、柱島群島、屋代島及び周辺の島嶼、熊南群島、笠戸島、周南群島等の島嶼部と、本州沿岸部で大華山、虹ヶ浜海岸、室積海岸、室積半島、千坊山・大峰山、皇座山等の本州沿岸部の陸域と周辺海域からなっている。</p> <p>本地域の特徴としては、多島海の眺望の他、点在する自然林、雄大な防予灘、ニホンアワサンゴ群集等の海中景観といった自然風景や島嶼部の漁村・営農風景等が挙げられ、利用の形態としては、瀬戸内海の展望、海水浴、キャンプ等の海域での利用が多く、年間約 136 万人（平成 25 年）の利用者が訪れている。</p> <p>当該地域は、昭和 25 年 5 月 18 日及び昭和 31 年 5 月 1 日の区域拡張によりそれぞれ区域編入されたものであり、その後、平成 3 年 7 月 26 日に公園区域及び公園計画の全般的な見直し（再検討）、平成 18 年 1 月 19 日に公園区域及び公園計画の変更（点検）、さらに、平成 25 年 2 月 28 日には屋代島沖で確認された大規模なニホンアワサンゴ群集を保護するために公園計画の一部変更が行われ、現在に至っている。</p> <p>(1) 景観の特性</p> <p>ア 地形、地質</p> <p>地形からみると、山地の配置や海岸線の形状は、主に北西－南東方向を主軸とし、これは副次的に交わる北東－南西方向の断層系の</p>

影響下に形成されている。

また、地質を見ると基盤岩となるものは、主に、領家変成帯に属する変成岩類と領家帯に属する花崗岩類である。これらの基盤岩類の浸食された地形の頂部にいわゆる瀬戸内火山脈に属する安山岩類が見られる公園陸域についてみると、防予諸島は、主に領家帯の花崗閃緑岩ないし輝石安山岩からなる丘陵性の小島からなっているが、情島は大部分が硬岩の性質片状ホルンフェルスからなるので急斜面をめぐらす円頂丘状の島となっている。

公園陸域において特色ある地区をみると、周防大島（屋代島）の嘉納山山地は、花崗閃緑岩からなる基盤山地の上に新三紀の輝石安山岩がその高所一帯を占めて、600m以上の標高を保持している。

室津半島の皇座山は、その大部分が新第三紀の輝石安山岩からなる中起伏山地で、山頂一帯はかなりゆるやかな斜面をなし、一見溶岩円頂丘状の形態をとどめている。

千坊山山地は、領家帯の片麻状花崗閃緑岩と珪質縞状片麻岩からなる小起伏山地である。

太華山を頂く大島半島は主として石英岩班岩や玢岩等の火成岩類からなり、砂州の発達により自然に形成された陸繋島である。

笠戸島及び徳山湾の島しょのうち、仙島、黒髪島は黒雲母花崗岩からなり、その他は三郡や領家の変成帯からなっている。

下関市火の山は、西九州の玄界灘沿いに分布する玄武岩質の溶岩台地と同一系統のものであるが、小規模な卓上大地の形態をなしている形態をなしている。満珠島・千珠島は花崗岩類からなる小島である。

影響下に形成されている。

また、地質を見ると基盤岩となるものは、主に、領家変成帯に属する変成岩類と領家帯に属する花崗岩類である。これらの基盤岩類の浸食された地形の頂部にいわゆる瀬戸内火山脈に属する安山岩類が見られる公園陸域についてみると、防予諸島は、主に領家帯の花崗閃緑岩ないし輝石安山岩からなる丘陵性の小島からなっているが、情島は大部分が硬岩の性質片状ホルンフェルスからなるので急斜面をめぐらす円頂丘状の島となっている。

公園陸域において特色ある地区をみると、屋代島の嘉納山山地は、花崗閃緑岩からなる基盤山地の上に新三紀の輝石安山岩がその高所一帯を占めて、600m以上の高度を保持している。

室津半島の皇座山は、その大部分が新第三紀の輝石安山岩からなる中起伏山地で、山頂一帯はかなりゆるやかな斜面をなし、一見トロイデ状の形態をとどめている。

千坊山山地は、領家帯の片麻状花崗閃緑岩と珪質縞状片麻岩からなる小起伏山地である。

太華山を頂く大島半島は主として石英岩班岩や玢岩等の火成岩類からなり、砂州の発達により自然に形成された陸繋島である。

笠戸島及び徳山湾の島嶼のうち、仙島、黒髪島は黒雲母花崗岩からなり、その他は三郡や領家の変成帯からなっている。

下関市火の山は、西九州の玄界灘沿いに分布する玄武岩質の溶岩台地と同一系統のものであるが、小規模な卓上大地の形態をなしている形態をなしている。満珠島・千珠島は花崗岩類からなる小島である。

イ 植生・野生生物

瀬戸内海一帯は、古代から人が住みつき開拓されていたため、原植生の暖温帯性の常緑広葉樹林が残されている所は極めて少なく、大部分の地域はアカマツの二次林や造林地である。

しかしながら、満珠島及び千珠島（下関市）、室積半島の峨嵋山（光市）では、常緑広葉樹林の優れた自然林が見られる。

公園区域における特色ある植生をみると、満珠島は、モチノキーホソバカナワラビ群落からなる自然林に、千珠島は、スダジイを混えたイスノキーホソバカナワラビ群落からなる自然林に被われ、ハマセンダン・ハマビワ等の暖地性植物を多く産し、当地方の極盛相を示す植物群落として貴重である。

その他、峨嵋山は、スダジイの優占する照葉樹林が山口県有数の規模で見られる。

また、防予諸島の大水無瀬島及び小水無瀬島には、クワ科の常緑樹であるアコウが自生しており、北限地として貴重である。

防予諸島の島しょが中心で、自然林の少ない本地域では陸生の動植物は種類・生息数とも少ないが、わずかに周防大島（屋代島）の周防大島町管内を中心に生息するタヌキが特記される程度である。

鳥類も特記すべきものはなく、繁殖地・渡来地となっているところもない。

昆虫類では、ギフチョウが太華山に生息している。

その他、魚類は光市鼓ヶ浦海岸がクサフグの産卵地となっている。

イ 植生・野生生物

瀬戸内海一帯は、古代から人が住みつき開拓されていたため、原植生の暖温帯性の常緑広葉樹林が残されている所は極めて少なく、大部分の地域はアカマツの二次林や造林地である。

しかしながら、満珠島及び千珠島（下関市）、室積半島の峨嵋山（光市）では、常緑広葉樹林の優れた自然林が見られる。

公園区域における特色ある植生をみると、満珠島は、モチノキーホソバカナワラビ群落からなる自然林に、千珠島は、スダジイを混えたイスノキーホソバカナワラビ群落からなる自然林に被われ、ハマセンダン・ハマビワ等の暖地性植物を多く産し、当地方の極盛相を示す植物群落として貴重である。

その他、峨嵋山は、スダジイの優占する照葉樹林が山口県有数の規模で見られる。

また、防予諸島の大水無瀬島及び小水無瀬島には、クワ科の常緑樹であるアコウが自生しており、北限地として貴重である。

防予諸島の島嶼が中心で、自然林の少ない本地域では陸生の動植物は種類・生息数とも少ないが、わずかに屋代島の東和町管内を中心に生息するタヌキが特記される程度である。

鳥類も特記すべきものはなく、繁殖地・渡来地となっているところもない。

昆虫類では、ギフチョウが太華山に生息している。

その他、魚類は光市太鼓ヶ浦海岸がクサフグの産卵地となっている。

ウ 自然現象

本地域の海域は、瀬戸内海の他の地域と同様多数の島が存在し、海底地形も複雑であるため、海水の流れは変化に富み、小さな渦潮の発生が見られる。特に大島の瀬戸及び早鞆の瀬戸はよく知られている。

エ 文化景観

本地域は、古くから漁業が盛んな地域であり、入り江に見られる多くの漁港や漁村、また海上の定置網や養殖筏などと併せ、島と島、さらに本土を行き交う多くの船は、本地域の海洋景観を特徴づける重要な構成要素となっている。

また、本地域は、海上交通の要地としての重要度は古来より高く、周辺地域を含めた各地に関連した社寺仏閣及び史跡が点在している。

(2) 利用の現況

本公園の主な利用形態は、自然観賞（多島、瀬戸の景観等）、登山、自然観察、海水浴、キャンプ、ヨット、釣り、潮干狩り等である。通年利用されているものが多いが、夏期が圧倒的に多い。

なお、山口県以外からでは広島県と福岡県からの利用者が多い。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本公園は、公園区域 67,214ha（陸域）のうち、国有地 7,856ha、

ウ 自然現象

本地域の海域は、瀬戸内海の他の地域と同様多数の島が存在し、海底地形も複雑であるため、海水の流れは変化に富み、小さな渦潮の発生が見られる。特に大島の瀬戸及び早鞆の瀬戸はよく知られている。

エ 文化景観

本地域は、古くから漁業が盛んな地域であり、入り江に見られる多くの漁港や漁村、また海上の定置網や養殖筏などと併せ、島と島、さらに本土を行き交う多くの船は、本地域の海洋景観を特徴づける重要な構成要素となっている。

また、本地域は、海上交通の要地としての重要度は古来より高く、周辺地域を含めた各地に関連した社寺仏閣及び史跡が点在している。

(2) 利用の現況

本公園の主な利用形態は、自然観賞（多島、瀬戸の景観等）、自然観察、海水浴、キャンプ、ヨット、釣り、潮干狩り等である。通年利用されているものが多いが、夏期が圧倒的に多い。

なお、年間の利用者数は、山口県内は平成元年で約 136 万人であり、山口県以外からでは広島県と福岡県からの利用者が多い。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本公園は、公園区域 67,242ha（陸域）のうち、国有地 7,856ha、

公有地 10,835ha、私有地 48,541ha であり、私有地の公園全体に占める割合が大きい。山口県地域は、国有地 1,004ha、公有地 827ha、私有地 4,355ha であり、私有地の地域全体に占める割合が大きい。

イ 人口及び産業

本公園区域に係る各市町村の人口及び世帯数は、次の通りである。

県名	市町村名	人口(人)	世帯数(戸)	備考	
山口県	下関市	255,051	115,817	令和2年10月現在	
	防府市	113,979	48,858	令和2年10月現在	
	下松市	55,887	24,718	令和2年10月現在	
	岩国市	129,125	57,911	令和2年10月現在	
	光市	49,798	21,439	令和2年10月現在	
	柳井市	30,799	13,932	令和2年10月現在	
	周南市	137,540	63,289	令和2年10月現在	
	大島郡 周防大島町	14,798	7,198	令和2年10月現在	
	熊毛郡 上関町	2,342	1,251	令和2年10月現在	
	熊毛郡 田布施町	14,483	5,955	令和2年10月現在	
	熊毛郡 平生町	11,914	4,848	令和2年10月現在	
	合計		815,716	365,216	

年齢構成は、15歳未満 11.4%、15～64歳 53.5%、65歳以上

公有地 10,853ha、私有地 48,551ha であり、私有地の公園全体に占める割合が大きい。山口県地域は、国有地 1004ha、公有地 845ha、私有地 4,365ha であり、私有地の地域全体に占める割合が大きい。

イ 人口及び産業

本公園区域に係る各市町村の人口及び世帯数は、次の通りである。

県名	市町村名	人口(人)	世帯数(戸)	備考
山口県	下関市	268,232	118,764	平成27年9月現在
	周南市	144,267	62,218	平成27年9月現在
	防府市	115,586	48,475	平成27年9月現在
	下松市	55,261	23,523	平成27年9月現在
	岩国市	136,475	58,867	平成27年9月現在
	光市	51,184	21,251	平成27年9月現在
	柳井市	32,656	14,261	平成27年9月現在
	周防大島町	17,006	8,223	平成27年9月現在
	上関町	2,831	1,498	平成27年9月現在
	田布施町	15,303	6,180	平成27年9月現在
	平生町	12,862	5,104	平成27年9月現在
	合計		851,663	368,634

年齢構成は、15歳未満約 12.7%、15～64歳 58.8%、65歳以上

35.0%となっており、(令和2年国勢調査)、全国平均に比べて65歳以上(28.6%)の割合が高く、15歳未満(11.9%)と15～64歳(59.5%)の割合が低い。

産業別就業者数の割合では第3次産業の割合(68.0%)が全ての関係市町村で6割を超えており、次いで第2次産業(28.5%)、第1次産業(3.5%)となっている。(令和2年国勢調査)

卸売業、小売業や、医療、福祉が中心となっている。

ウ 権利制限関係

(ア)保安林

(国有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
土砂流出防備	山口県 下松市 地内 (笠戸島)	1	昭 36. 7. 26
防風	〃 〃 〃	14	明 32. 5. 20
干害防備	〃 〃 〃	54	昭 41. 9. 12
魚つき	〃 〃 〃	66	明 38. 5. 31
保健	〃 〃 〃	287	昭 41. 9. 12
風致	〃 周南市 地内 (仙島)	131	平 19. 5. 8

(民有林)

28.4%となっており、(平成22年国勢調査)、全国平均に比べて65歳以上(23.01%)の割合が高く、15歳未満(13.3%)と15～64歳(63.7%)の割合が低い。

産業別就業者数の割合では第3次産業の割合(66.6%)が全ての関係市町村で5割を超えており、第1次産業(4.7%)、第2次産業(28.7%)を上回っている。(平成22年国勢調査)

卸売業、小売業が中心となっている。また、第1次産業では、稲作、麦、大根等の野菜、ミカン等の果樹の農業や一部の地域で漁業が行われている。

ウ 権利制限関係

(ア)保安林

(国有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
土砂流出防備	山口県 下松市 地内 (笠戸島)	1	昭 36. 7. 26
防風	〃 〃 〃	14	明 32. 5. 20
干害防備	〃 〃 〃	54	昭 41. 9. 12
魚つき	〃 〃 〃	66	明 38. 5. 31
保健	〃 〃 〃	287	昭 41. 9. 12
風致	〃 周南市 地内 (仙島)	131	平 19. 5. 8

(民有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日	種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
土砂流出防備	山口県 周南市 地内 (大島)	48	昭 56. 6. 16	土砂流出防備	山口県 周南市 地内 (大島)	48	昭 56. 6. 16
	〃 下松市 地内 (笠戸島)	9	平 16. 6. 16		〃 下松市 地内 (笠戸島)	9	平 16. 6. 16
	〃 光市 地内 (大峰)	97	昭 52. 12. 27		〃 光市 地内 (大峰)	97	昭 52. 12. 27
	〃 大島郡周防大島町地内 (文珠)	11	昭 24. 11. 16		〃 大島郡周防大島町地内 (文珠)	11	昭 24. 11. 16
	〃 〃 地内 (帯石)	22	昭 28. 12. 14		〃 〃 〃 (帯石)	22	昭 28. 12. 14
	〃 〃 地内 (浮島)	1	昭 32. 10. 2		〃 〃 〃 (浮島)	1	昭 32. 10. 2
	〃 〃 地内 (西方)	1	平 7. 7. 21		〃 〃 〃 (西方)	1	平 7. 7. 21
	〃 〃 地内 (久賀)	8	平 13. 1. 12		〃 〃 〃 (久賀)	8	平 13. 1. 12
飛砂防備	山口県 光市 地内 (虹ヶ浜)	7	昭 36. 8. 1	飛砂防備	山口県 光市 地内 (虹ヶ浜)	7	昭 36. 8. 1
防風	山口県 光市 地内 (室積)	5	昭 44. 3. 9	防風	山口県 光市 地内 (室積)	5	昭 44. 3. 9
魚つき	山口県 周南市 地内 (樺島)	7	明 34. 7. 8	魚つき	山口県 周南市 地内 (樺島)	7	明 34. 7. 8
	〃 〃 <u>地内</u> (馬島)	22	明 38. 5. 16		〃 〃 (馬島)	22	明 38. 5. 16
	〃 下松市 地内 (古島)	11	明 38. 5. 16		〃 下松市 地内 (古島)	11	明 38. 5. 16
	〃 〃 <u>地内</u> (笠戸島)	123	昭 38. 5. 16		〃 〃 (笠戸島)	123	昭 38. 5. 16
	〃 岩国市 地内 (伊勢小島)	4	大 5. 3. 14		〃 岩国市 地内 (伊勢小島)	4	大 5. 3. 14
	〃 〃 <u>地内</u> (桂島)	5	大 5. 3. 14		〃 〃 (桂島)	5	大 5. 3. 14
	〃 〃 <u>地内</u> (続島)	5	大 5. 3. 14		〃 〃 (続島)	5	大 5. 3. 14
	〃 柳井市 地内 (池ノ浦)	29	明 38. 5. 16		〃 柳井市 地内 (池ノ浦)	29	明 38. 5. 16

	〃 周南市 地内 (西ノ島)	3	明 38. 5. 16
	〃 大島郡周防大島町 地内 (前島)	15	明 35. 10. 16
	〃 〃 地内 (両源田)	4	明 36. 5. 20
	〃 〃 地内 (我島)	8	明 36. 5. 20
	〃 〃 地内 (前小島)	2	明 36. 5. 20
	〃 〃 地内 (情島)	9	明 36. 5. 20
	〃 〃 地内 (飛瀬島)	4	明 36. 5. 20
	〃 〃 地内 (浮島)	13	明 36. 5. 20
	〃 〃 地内 (地家室)	4	明 35. 10. 16
	〃 〃 地内 (沖家室)	10	明 35. 10. 16
	〃 熊毛郡平生町 地内 (佐合島)	12	明 38. 5. 16
	保健	山口県 周南市 地内 (大島)	40
〃 光市 地内 (大峰)		97	昭 52. 12. 27

(イ) 鳥獣保護区
(県指定)

名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
峨嵋山特別保護地区	山口県光市 地内	47	昭 54. 11. 1

	〃 周南市 地内 (西ノ島)	3	明 38. 5. 16
	〃 大島郡周防大島町 地内 (前島)	15	明 35. 10. 16
	〃 〃 (両源田)	4	明 36. 5. 20
	〃 〃 (我島)	8	明 36. 5. 20
	〃 〃 (前小島)	2	明 36. 5. 20
	〃 〃 (情島)	9	明 36. 5. 20
	〃 〃 (飛瀬島)	4	明 36. 5. 20
	〃 〃 (浮島)	13	明 36. 5. 20
	〃 〃 (地家室)	4	明 35. 10. 16
	〃 〃 (沖家室)	10	明 35. 10. 16
	〃 熊毛郡平生町 地内 (佐合島)	12	明 38. 5. 16
	保健	山口県 周南市 地内 (大島)	40
〃 光市 地内 (大峰)		97	昭 52. 12. 27

(イ) 鳥獣保護区
(県指定)

名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
火の山・霊鷲山特別保	山口県 下関市地	35	昭 40. 11. 1

千坊大峯特別保護地区	〃 光市 地内	42	昭 53. 11. 1
牛島特別保護地区	〃 光市 地内	196	平 12. 11. 1
火の山・霊鷲山鳥獣保護区	〃 下関市 地内	900	昭 40. 11. 1
室津半島鳥獣保護区	〃 熊毛郡上関町 地内	655	昭 36. 11. 1
太華山鳥獣保護区	〃 周南市 地内	30	昭 41. 11. 1
笠戸島鳥獣保護区	〃 下松市 地内	1,200	昭 47. 11. 1
千坊大峯鳥獣保護区	〃 光市 地内	330	昭 53. 11. 1

(ウ) 史跡名勝天然記念物

区分	名称	位置	指定年月日
国指定天然記念物	千珠樹林	山口県 下関市 地内	大 15. 10. 20
	満珠樹林	〃 〃 〃	大 15. 10. 20
	峨嵋山樹林	〃 光市 地内	昭 7. 4. 25
県指定天然記念物	光のクサフグ産卵地	〃 〃 〃	昭 44. 2. 4
	水無瀬島のアコウ自生地帯	〃 大島郡周防大島町 地内	昭 41. 6. 10

護地区	内		
峨嵋山特別保護地区	〃 光市 地内	47	昭 44. 11. 1
千坊大峯特別保護地区	〃 光市 地内	42	昭 53. 11. 1
室積半島鳥獣保護区	〃 熊毛郡上関町 地内	307	昭 36. 11. 1
太華山鳥獣保護区	〃 徳山市 地内	30	昭 41. 11. 1
笠戸島鳥獣保護区	〃 下松市 地内	900	昭 47. 11. 1
千坊大峯鳥獣保護区	〃 光市 地内	43	昭 53. 11. 1

(ウ) 史跡名勝天然記念物

区分	名称	位置	指定年月日
国指定天然記念物	千珠樹木	山口県 下関市 地内	大 15. 10. 20
	満珠樹木	〃 〃 〃	大 15. 10. 20
	峨嵋山樹木	〃 光市 地内	昭 7. 4. 25
県指定天然記念物	光のフサフグ産卵地	〃 〃 〃	昭 44. 2. 4
	水無瀬島のアコウ自生地帯	〃 大島郡周防大島町 地内	昭 41. 6. 10

(エ) 都市公園

名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
火の山公園	山口県 下関市 地内	20	昭 31. 7. 1

(オ) 海岸保全地区

No.	海岸名	管理者	国立公園区域区分
1	安下庄漁港	周防大島町	普通地域
2	伊保田港 伊保田	山口県	普通地域
3	沖浦港 秋港	山口県	普通地域
4	岩国	不明	第2種特別地域
—	—	—	普通地域
5	岩国港 和木新港	山口県	普通地域
6	戸田漁港	周南市	普通地域
7	光漁港	光市	第2種特別地域
—	—	—	普通地域
8	黒島漁港	岩国市	第2種特別地域
—	—	—	普通地域
9	佐賀	不明	普通地域
10	佐賀漁港	平生町	普通地域
11	志佐漁港	周防大島町	普通地域
12	室津漁港	上関町	普通地域
13	室津港 室津	山口県	普通地域
14	祝島漁港	上関町	普通地域

(エ) 都市公園

名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
火の山公園	山口県 下関市 地内	20	昭 31. 7. 1

15	小松港 小松	山口県	普通地域
16	上関	不明	普通地域
17	上関漁港	上関町	普通地域
18	森野	不明	普通地域
19	前島漁港	周防大島町	第2種特別地域
—	—	—	普通地域
20	大津島漁港	周南市	普通地域
21	大島	不明	普通地域
22	柱島港 柱島	岩国市	第2種特別地域
—	—	—	普通地域
23	東和	不明	第2種特別地域
—	—	—	普通地域
—	—	—	海城公園地区
24	徳山下松港 下松	山口県	普通地域
25	徳山下松港 三ツ石	山口県	普通地域
26	徳山下松港 大津島	山口県	普通地域
27	日良居漁港	周防大島町	普通地域
28	日良居	不明	普通地域
29	馬ヶ原	不明	普通地域
30	白木漁港	周防大島町	普通地域
—	—	不明	第2種特別地域
—	—	—	普通地域
—	—	—	海城公園地区
31	尾津漁港	田布施町	普通地域
32	浮島漁港	周防大島町	普通地域

33	福川漁港	周南市	普通地域
34	平郡漁港	柳井市	普通地域
35	平郡南面	不明	普通地域
36	平郡北面	不明	普通地域
37	平生港 田布施	山口県	普通地域
38	本浦	不明	普通地域
39	鳴門漁港	柳井市	普通地域
40	柳井港 柳井	山口県	普通地域
41	油田漁港	周防大島町	第2種特別地域
—	—	—	普通地域
—	—	不明	第2種特別地域
—	—	—	普通地域
42	油良	不明	普通地域
43	立島	不明	普通地域
44	裕大島漁港	周南市	普通地域

3 変更する公園区域

瀬戸内海国立公園（山口県地域）の区域の一部を次のとおり変更する。

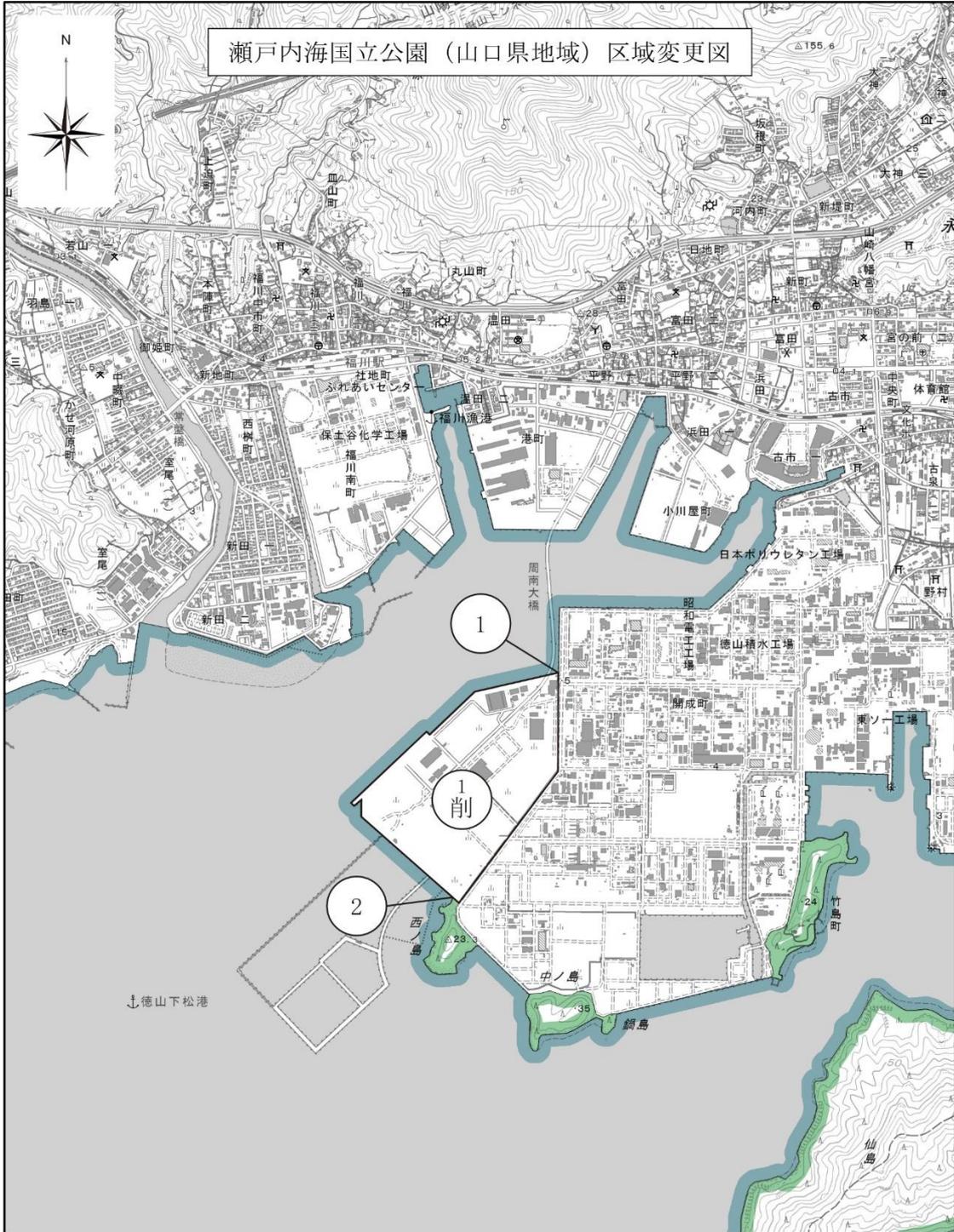
（表2：公園区域（陸域）変更表）

番号	区分	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
1	削除	山口県周南市臨海町の全部	当該地は公園区域外の埋立地に隣接しており、当該地も既に埋立地として利用され、国立公園の区域として存続させる資質を有していないことから、削除する。	△28 〔 国 — 公 △18.1 私 △10.2 〕
			変更部分 面積計	△28 〔 国 — 公 △18.1 私 △10.2 〕
			変更前 公園面積	6,214 〔 国 1,004 公 845 私 4,365 〕
			変更後 公園面積	6,186 〔 国 1,004 公 827 私 4,355 〕

(表3：公園区域(海域)変更表)

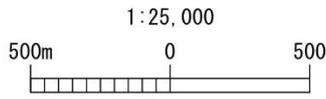
番号	区分	変更部分の区域	変更理由	面積 (ha)
1	削除	山口県周南市臨海町の地先海面の一部	公園区域が、海面の埋立てにより不明確となっていることから明確化を図るもの。	△17
変更部分 面積計				△17
変更前 公園面積				836,689
変更後 公園面積				836,672

※1 海域は国の所有に属する公有水面であり、県別に面積を表示することはできないため、瀬戸内海国立公園全体の数値を示している。



瀬戸内海国立公園（山口県地域）区域変更図

凡例	
【1】削除	
② - ①	旧汀線界（東京湾中等潮位）
① - ②	汀線界（東京湾中等潮位）



電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成

第2 公園計画の変更

1 変更理由

瀬戸内海国立公園は、我が国を代表する内海多島海景観に加えて自然・人文の融和した特徴的な景観を有することから、昭和9年に備讃瀬戸が我が国最初の国立公園の1つとして指定された。

山口県地域は、柱島群島、周防大島（屋代島）及び周辺の島しょ、熊毛群島、笠戸島、周南群島等の島しょ部と、太華山、虹ヶ浜海岸、室積海岸、室積半島、千坊山・大峰山、皇座山等の本州沿岸部の陸域と周辺海域から構成される。

当該地域の特徴としては、多島海の眺望の他、点在する自然林、雄大な防予灘、ニホンアワサング群集等の海中景観といった自然風景や島しょ部の漁村・農村風景などの文化景観が一体となった親しみ深い景観が特色である。

当該地域は、昭和25年及び昭和31年の区域拡張により区域編入されたものであり、その後、平成3年に公園区域及び公園計画の全般的な見直し（再検討）、平成18年に公園区域及び公園計画の変更（第1次点検）、平成25年に公園計画の一部変更、平成29年に第2次点検が行われ、現在に至っている。

今回は、第3次点検において海域の埋立てに伴う公園区域の変更を行うことに伴い、普通地域の面積に変更が生じたため、公園計画の変更を行うものである。

都道府県名	変更後		変更前	
	区域	面積 (ha)	区域	面積 (ha)
	陸域		変更部分面積 合計	△28 〔 国 ー 〕 〔 公 △18 〕 〔 私 △10 〕
			変更前 普通地域面積	2,080 〔 国 403 〕 〔 公 154 〕 〔 私 1,523 〕
			変更後 普通地域面積	2,052 〔 国 403 〕 〔 公 136 〕 〔 私 1,513 〕
	海域		変更部分面積合計	△17
			変更前普通地域面積	836,633
			変更後普通地域面積	836,616

イ 面積内訳

(表5：地域地区別土地所有別面積総括表)

(単位：面積 ha、比率%)

地域区分		特別地域											普通地域 (陸域)			合計 (陸域)			海域公園 地区 ※1	普通地域 (海域) ※1	合計 (海域) ※1				
		特別保護地区			第1種特別地域			第2種特別地域			第3種特別地域														
土地所有別		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私						
合計	土地所有別面積	0	0	0	0	99	22	147	214	1,994	454	378	826	403	136	1,513	1,004	827	4,355						
	地種区分別面積 (比率)				121 (2.0)			2,355 (38.1)			1,658 (26.8)														
	地域地区別面積 (比率)	0 (0)												4,134 (66.8)											
	地域別面積 (比率)													4,134 (66.8)			2,052 (33.2)			6,186 (100.0)			56.4 (0.0)	836,616 (100.0)	836,672 (100.0)
																	合計 (陸域・海域)						842,858		

※1 海域は国の所有に属する公有水面であり、県別に面積を表示することはできないため、瀬戸内海国立公園全体の数値を示している。

(表6：地域地区別市町村別面積総括表)

(単位：面積 ha)

地域地区 市町村名		現 行									変 更 後									増 減				
		特別地域					普通 地域 (陸域)	合計 (陸域) (A)	海域 公園 地区	普通 地域 (海域)	合計 (海域) (A')	特別地域					普通 地域 (陸域)	合計 (陸域) (B)	海域 公園 地区 ※1	普通 地域 (海域) ※1	合計 (海域) (B') ※1	陸域 (B-A)	海域 (B'-A')	
		特 保	第 1 種	第 2 種	第 3 種	小 計						特 保	第 1 種	第 2 種	第 3 種	小 計								
山口県	下関市	—	5	37	0	42	0	42				—	5	37	0	42	0	42				—	△17	
	防府市	—	0	5	0	5	70	75				—	0	5	0	5	70	75				—		
	下松市	—	0	232	0	232	689	921				—	0	232	0	232	689	921				—		
	岩国市	—	0	514	0	514	0	514				—	0	514	0	514	0	514				—		
	光市	—	0	192	0	192	0	192				—	0	192	0	192	0	192				—		
	柳井市	—	0	0	201	201	0	201				—	0	0	201	201	0	201				—		
	周南市	—	0	58	441	499	1,152	1,651				—	0	58	441	499	1,124	1,623				△28		
	大島郡	周防大島町	—	116	1,242	701	2,059	11	2,070				—	116	1,242	701	2,059	11	2,070					—
	熊毛郡	上関町	—	0	68	315	383	0	383				—	0	68	315	383	0	383					—
		田布施町	—	0	7	0	7	53	60				—	0	7	0	7	53	60					—
	平生町	—	0	0	0	0	105	105				—	0	0	0	0	105	105				—		
合 計		—	121	2,355	1,658	4,134	2,080	6,214	56.4	836,633	836,689	—	121	2,355	1,658	4,134	2,052	6,186	56.4	836,616	836,672	△28	△17	

※1 海域は国の所有に属する公有水面であり、県別等に面積を表示することはできないため、瀬戸内海国立公園全体の数値を示している。

3 参考事項

(1) 過去の経緯

ア 公園区域

- 昭和25年 5月18日 大島郡内主要峰から徳山湾に至る島嶼部の区域指定
- 昭和31年 5月 1日 岩国市、大島郡周辺島嶼部、光市、下関市及び北九州市の区域指定
- 平成 3年 7月26日 情島、柱島、浮島、黒髪島、白木山、皇座山及びその周辺地域の区域指定（再検討）
- 平成18年 1月19日 海域普通地域内での埋立てにより陸域化した部分の公園区域の明確化（点検）
- 平成29年3月16日 海域の埋立てによる公園区域線の明確化とともに、周防大島の陸域及び周辺海域の区域指定、黒髪島の南部の一部を区域指定及び西部の一部を公園区域から削除（第2次点検）

イ 保護計画

- 昭和32年10月23日 特別地域の決定
- 平成 3年 7月26日 特別地域の決定（再検討）
- 平成25年 2月28日 周防大島町の周辺海域を海域公園地区に指定（一部変更）

ウ 利用計画

- 昭和27年10月23日 施設計画の決定（室積園地）
- 昭和29年 2月18日 施設計画の追加（松原海水浴場、太華山道路（車道））
- 昭和32年10月23日 施設計画の追加（単独施設、道路（車道）、道路（歩道））
- 昭和45年12月12日 施設計画の追加（笠戸島園地）
- 昭和48年 8月 2日 施設計画の追加（笠戸島野営場）
- 平成 3年 7月26日 施設計画の決定（再検討）
- 平成18年 1月19日 施設計画の一部変更（点検）
- 平成29年3月16日 施設計画の追加（地家室園地、伊崎牛ヶ首線（車道））